

平成26年度 市の組織

平成26年度は、市制10周年の記念すべき年であり、また昨年9月の台風18号による災害の復旧や、国の新たな施策である臨時福祉給付金や子育て世帯臨時特例給付金など、迅速かつ確実に遂行しなければならない事務などが山積みしています。

これらの行政需要に的確に対応するため、職員一人ひとりが責任感を持って、自ら考え行動するとともに、所属長を中心としたチームワークをより強固なものとするため、行政組織の見直しを行いました。

☎ 人事課 ☎ (25) 8525

議会 議会事務局 ● 議事課 ☎ (25)8140

市長部局

政策部

- 企画調整課 ☎ (25)8114
- 秘書広報課 ☎ (25)8000
- 情報統計課 ☎ (25)8527
- 総合防災局
- 防災課 ☎ (25)8133
- 原子力防災対策室 ☎ (25)8133

環境部

- 環境政策課 ☎ (25)8123
- 環境センター ☎ (24)0031
- 今津環境クリーンセンター ☎ (24)0053
- 衛生センター ☎ (22)2725
- 斎場 ☎ (22)4740

農林水産部

- 農業政策課 ☎ (25)8511
- 農村整備課 ☎ (25)8529
- 森林水産課 ☎ (25)8512

商工観光部

- 商工振興課 ☎ (25)8514
- 観光振興課 ☎ (25)8040

土木上下水道部

- 土木課 ☎ (22)2001
- 国県事業対策室
- 都市計画課 ☎ (22)0904
- 交通対策課 ☎ (22)0058
- 上下水道課
- (水道) ☎ (22)9037
- (下水) ☎ (22)9011

会計管理者

- 会計課 ☎ (25)8118

消防本部

- 消防総務課 ☎ (22)5401
- 予防課 ☎ (22)5403
- 警防課 ☎ (22)5402
- 通信指令課 ☎ (22)1234
- 北部消防署 ☎ (22)1234
- 朽木分遣所 ☎ (38)2100
- マキノ救急分遣所 ☎ (28)0119
- 南部消防署 ☎ (32)1212

総務部

- 行政課 ☎ (25)8000
- 財政課 ☎ (25)8111
- 人事課 ☎ (25)8525
- 税務課 ☎ (25)8116
- 納税課 ☎ (25)8522
- 行財政改革推進室 ☎ (25)8013
- 契約検査課 ☎ (25)8501

健康福祉部

- 社会福祉課 ☎ (25)8120
- 福祉給付金推進室 ☎ (25)8009
- 障がい福祉課 ☎ (25)8516
- 健康推進課 ☎ (25)8078
- 保険年金課 ☎ (25)8137
- 朽木診療所 ☎ (38)2071
- 長寿介護課 ☎ (25)8029
- 訪問看護ステーション ☎ (36)8111
- 陽光の里 ☎ (36)1220
- 健康いきいき応援センター
- 北部健康いきいき応援センター ☎ (22)5101
- 南部健康いきいき応援センター ☎ (32)4413

子ども局

- 子育て支援課 ☎ (25)8136
- マキノ東保育園
- マキノ西保育園
- 今津東保育園
- 朽木保育園
- 古賀保育園
- 高島保育園
- 大師山さくら園
- 静里なのはな園
- カンガルー教室
- マキノ児童館
- 子ども家庭相談課 ☎ (25)8517

市民生活部

- 市民協働課 ☎ (25)8526
- 市民課 ☎ (25)8018
- 生活相談課 ☎ (25)8125
- 人権施策課 ☎ (25)8524
- マキノ支所 ☎ (27)1121
- 今津支所 ☎ (22)2551
- 朽木支所 ☎ (38)2331
- 安曇川支所 ☎ (32)1131
- 高島支所 ☎ (36)1121
- 新旭振興室 ☎ (25)8100



教育委員会

教育委員会事務局

- 教育総務課 ☎ (32)1132
- 学校教育課 ☎ (32)4473
- 教育相談・課題対応室 ☎ (32)4406
- 教育研究所 ☎ (32)4482
- 小学校
- 中学校
- 社会教育課 ☎ (32)4457
- マキノ公民館 ☎ (27)1131
- 今津公民館 ☎ (22)2249
- 朽木公民館 ☎ (38)2324
- 安曇川公民館 ☎ (32)0003
- 高島公民館 ☎ (36)0219
- 新旭公民館 ☎ (25)8100
- 中江藤樹記念館 ☎ (32)0330
- 青少年課 ☎ (32)4458
- 少年センター・あすくろ高島 ☎ (32)3824
- 学校給食課 ☎ (32)1716
- マキノ学校給食センター ☎ (27)0360
- 今津学校給食センター ☎ (22)2091
- 安曇川学校給食センター ☎ (32)0072
- 新旭学校給食センター ☎ (25)7080
- 文化財課 ☎ (32)4467
- マキノ資料館 ☎ (27)1484
- 朽木資料館 ☎ (38)2339
- 高島歴史民俗資料館 ☎ (36)1553
- 市民スポーツ課 ☎ (32)4459
- 図書館
- マキノ図書館 ☎ (27)0350
- 今津図書館 ☎ (22)3827
- 安曇川図書館 ☎ (32)4711
- 朽木図書サロン ☎ (38)2324
- 高島図書室 ☎ (36)2160
- 新旭図書室 ☎ (25)2811
- 高島市民会館 ☎ (22)1764
- 藤樹の里文化芸術会館 ☎ (32)2461
- ガリバーホール ☎ (36)0219

高島市民病院

- ☎ (36)0220 (代表)
- ☎ (36)8077 (外来予約専用)
- 診療部
- 医療技術部
- 看護部
- 地域医療サービス部
- 地域医療連携室
- 健診室
- 医療安全部
- 医療安全推進室
- 事務部
- 病院総務課
- 経営企画課
- 医事課
- 施設管理課

選挙管理委員会

- 事務局 ☎ (25)8000

監査委員

- 事務局 ☎ (25)8000

公平委員会

- 事務局 ☎ (25)8000

農業委員会

- 事務局 ☎ (25)8513

固定資産評価審査委員会

- 事務局 ☎ (25)8000

point 1 市民環境部、産業経済部を分割

事務の範囲が多岐にわたる「市民環境部」を「市民生活部」と「環境部」に、「産業経済部」を「農林水産部」と「商工観光部」に分割。担当部長の指揮命令を強化し、部内事務の充実を図ります。

point 2 上下水道部を廃止

上下水道料金徴収の民間委託を機に組織のスリム化を図るため、「上下水道部」を廃止して、部の名称を改め「土木上下水道部」とし、同部内に「上下水道課」を設置します。

point 3 情報統計課を政策部に移管

情報統計課を総務部から政策部に移管し、国勢調査(平成27年度実施)をはじめとする統計業務や、基幹業務系システムの再構築などの巨大プロジェクトに対する確実な実施体制を構築します。

point 4 福祉給付金推進室を設置

社会福祉課内に福祉給付金推進室を設け、臨時福祉給付金や子育て世帯臨時特例給付金支給事務の体制をつくります。

point 5 広報・広聴部門を所管替え

企画広報課の広報・広聴部門を秘書課に所管替えし、「企画広報課」を「企画調整課」に、「秘書課」を「秘書広報課」に課名変更します。

point 6 農業振興課を2課に再編

農業振興部門を「農業政策課」と「農村整備課」に再編し、業務の明確化を図るとともに、農業施設の災害復旧業務の体制を強化します。

平成 26 年度

協働提案 事業を紹介します

市では市民協働のまちづくりに取り組んでいます。その一環として協働提案事業を実施しており、市民の力と行政の力を持ち寄って地域の課題解決や新しいニーズに添えていくための事業を行っています。

今年度は、8件の提案があり、審査の結果、次の4事業に取り組んでいます。協働提案事業は4年目を迎え、徐々に市内で新しいサービスの形に育ち、市民と行政との協働が定着してきました。今後、ますますノウハウを蓄積し、市民と行政の総合力によってサービスの質を高めていきます。

☎市民協働課 ☎(25) 8526



3年目

支え合いの社会づくりのための移動販売事業

複数の移動販売車が「ぎょうれつ」を組み、買い物困難な地域に出向き、障がいのある人達が売り手となって心が通い合う販売を行います。今年度は、これまでの実績を基に巡回地域を拡大し、安否確認や軽作業等の支援を含めて商品の拡充と充実に努めます。また、「ぎょうれつ本舗」がサロンのような機能を果たすことによって、各地域で人々が繋がり合う場を提供し、支え合いの仕組みづくりをさらに進めます。

- 事業者** 社会福祉法人 虹の会
- 担当課** 障がい福祉課
- 関係課** 長寿介護課、商工振興課、市民協働課
- 補助金** 120万円

- 事業者の主な役割** 販売活動等サービスの提供、コミュニティの場づくり、関係者連絡調整会議の開催など
- 市の主な役割** 広報、情報提供、区長・福祉推進委員等へのつなぎ、事前協議など

2年目

インターネット活用による地域活性化事業

平成25年度に構築した「びわ湖源流ドットコム」を高島市のあらゆる情報の窓口となる「総合ポータルサイト」へと発展させ、まとまりのある情報発信と多様な手段を用いて高島市の市民の思いや活動を積極的にPRします。今年度は、他団体等との連携を強化して、各地域をつなぐ魅力的な情報を適時配信していきます。また、市民向けに情報発信のための講座を開催します。市民の基礎的な理解を深め、技術力を高めていただき、ネット活用の普及向上に努めます。

- 事業者** NPO法人 e ネットびわ湖高島
- 担当課** 秘書広報課
- 関係課** 観光振興課、商工振興課、農業政策課
- 補助金** 156.2万円

- 事業者の主な役割** 総合企画、ネットイベント企画やイベント告知などの運営企画、システムの設計・構築
- 市の主な役割** 総合企画、関係分野における情報発信・イベント等の企画、情報提供

New

社会的ひきこもりの支援活動推進事業

社会問題化する「ひきこもり」で苦しむ当事者とその家族に対する支援の充実が喫緊の課題です。当事業では、ひきこもり当事者やその家族を支える仕組みをつくるため、訪問による支援活動をはじめ、各種の相談、居場所や就労の場等におけるスタッフやサポーターの養成を行います。今年度は、高島市社会福祉協議会との連携により、モデル地域をつくり活動に着手するとともに、社会的ひきこもりの理解を深めるための啓発講演会をはじめ、サポーター養成講座の充実を努めます。

- 事業者** 社会的ひきこもり家族の会「みにとまとの会」
- 担当課** 少年センター、青少年課
- 関係課等** 障がい福祉課、高島市社会福祉協議会
- 補助金** 95万円

- 事業者の主な役割** 事業企画や実施、相談会などの通常活動、モデル地区の決定、講演会や講座の開催など
- 市の主な役割** 専門職の助言や派遣、情報共有など
- 社協の主な役割** モデル地区の紹介、活動助言・協力、出前講座企画・内容の助言、支援など

New

まちの縁側・居場所プロジェクト

地域の包括的なケア体制を充実させるため、多様な個人や活動団体の出番と居場所を用意し、それぞれが相互に繋がりが合うことにより、地域コミュニティの力を向上させていく必要があります。当事業では、地域で担い手となる人材と人材のネットワークを育成するとともに、誰もが気軽に集える「まちの縁側」をつくっていきます。今年度は、まちの縁側のモデルとなる常設拠点を設け、運営するとともに、縁側の担い手を育成する連続講座を開催して「まちの縁側」の普及促進に努めます。

- 事業者** NPO法人 元気な仲間
- 担当課** 長寿介護課、地域包括支援センター
- 関係課等** 高島市社会福祉協議会
- 補助金** 200万円

- 事業者の主な役割** 総合企画や運営、講座の実施、モデル拠点の開設や運営、縁側の受付や相談など
- 市の主な役割** 企画助言、プログラムの提供や助言
- 社協の主な役割** プログラムの提供、助言や情報提供

市初のCAFS装置を装備 水槽付消防ポンプ自動車を更新しました

高島市消防本部では、南部消防署に配備している水槽付消防ポンプ自動車を更新しました。

この消防自動車は、4輪駆動車で常に消火用水2000リットルを積載し、CAFS(キャプス=Compressed Air Foam System)装置を装備しています。

CAFS装置を装備した消防自動車は高島市では初めての導入で今後の消火活動に期待を寄せていますが、火災を起こさないことが第一です。皆さんも火の取り扱いには十分注意してください。

☎消防本部警防課 ☎(22) 5402



- CAFS装置…** 水と消火薬剤の混合液にコンプレッサー(圧縮機)で空気を注入することにより泡を発生させて放射する装置です。この泡の主成分はせっけんのようなもので無害とされており、主に木材、紙、雑草、ゴム製品の他、一般車両火災や小規模な住宅火災で非常に有効なものとなっています。

○歳入歳出補正予算

区分	補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計	270億9,700万円	18億1,400万円	289億1,100万円
特別会計	143億2,232万円	▲1億6,622万円	141億5,610万円
事業会計	68億3,009万円	▲7,193万円	67億5,816万円
予算総計	482億4,941万円	15億7,585万円	498億2,526万円

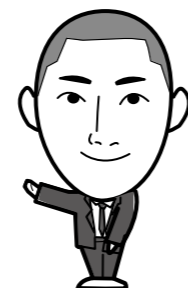
○一般会計 歳入予算の主な内訳

区分	補正額
市税	3,780万円
県税交付金	▲959万円
国有提供施設等所在市町村助成交付金	2,055万円
交通安全対策特別交付金	▲1万円
地方特例交付金	▲45万円
地方交付税	1,042万円
分担金及び負担金	381万円
使用料及び手数料	▲23万円
国庫支出金	5億6,596万円
県支出金	▲7,143万円
財産収入	▲63万円
寄附金	1,850万円
繰入金	3億7,514万円
諸収入	7,356万円
市債	7億9,060万円
計	18億1,400万円

○一般会計 歳出予算の主な内訳

区分	補正額
議会費	▲338万円
総務費	▲6,374万円
民生費	▲1億3,449万円
衛生費	▲6,119万円
農林水産業費	▲8,050万円
商工費	▲694万円
土木費	3,991万円
消防費	▲610万円
教育費	8億4,221万円
災害復旧費	3億3,555万円
公債費	9億2,141万円
諸支出金	3,126万円
計	18億1,400万円

※1万円未満を四捨五入しています。



財政課 (25) 8111

平成25年度3月補正予算が、3月議会で可決されました。今回の補正予算の概要は次のとおりです。

3月補正予算の概要

高島市民生委員児童委員協議会連合会（社会福祉課） (25) 8120

民生委員・児童委員の役割

- **地域福祉のアンテナ**
一人暮らしや寝たきりの高齢者、障がいのある方などの悩みや要望を的確に把握するように努めています。
- **地域福祉の世話役**
相談者の立場や気持ちを大切に、誠意をもって相談にのります。
- **地域福祉のパイプ役**
相談を受けたときには、関係機関の窓口を紹介したり相談者の負担を軽減できるように各機関とのパイプ役になります。

子どものことや高齢者のことなどでお困りの時は、一人で悩まずにお近くの民生委員児童委員にお気軽にご相談ください。秘密は固く守られます。民生委員児童委員のお名前や連絡先は、広報たかしま平成25年12月号をご覧ください。社会福祉課または各地域の保健センター（朽木地域は朽木支所）へお問い合わせください。

広げよう 地域に根ざした 思いやり

5月12日は 「民生委員・児童委員の日」

5月12日は、この日に民生委員制度が創設されたことから、「民生委員・児童委員の日」と定められています。民生委員・児童委員は、「広げよう 地域に根ざした思いやり」行動宣言による、安全で安心な福祉のまちづくりを目指して、常に住民の立場で相談に応じ、必要な援助を行っています。こうした活動を進めるためには、市民一人ひとりが自分の地域の民生委員・児童委員の存在や活動について、理解を深めていただき、信頼関係を築いていくことが大切です。

○主な事業

<p>橋梁長寿命化事業 7,650万円</p> <p>橋梁健全度調査実施済の151橋について長寿命化修繕計画を策定し、特に危険度の高い橋梁について補修・耐震化工事を実施します。</p>	<p>市道マキノ駅前連絡線道路改良事業 2,830万円</p> <p>市道マキノ駅前連絡線の道路改良事業を実施します。 ●道路改良 220m</p>	<p>公営住宅管理事業 1,600万円</p> <p>市営住宅等の長寿命化や快適な居住空間の整備のため、計画的に改修整備を図ります。 ●改修団地 島団地、第二古賀団地、拝戸団地</p>	<p>青柳小学校大規模改造事業 3億2,758万円</p> <p>青柳小学校は、建築から29年が経過して、内外装の老朽化が著しく雨漏りや内装の劣化がみられるため、大規模な改修を行います。</p>
<p>小学校トイレ改造事業 6,545万円</p> <p>建築後40年以上経過した小学校校舎のトイレについては老朽化が著しいことから、全面的な改修を行うとともに、便器を洋式化し、学校教育環境の向上を図ります。 ●改修校 新旭北小学校、朽木東小学校</p>	<p>小中学校エアコン整備事業 4億7,500万円</p> <p>近年の猛暑により、児童の健康管理が難しい状況にあるため、未整備の小中学校および中学校にエアコンを設置します。 ●設置予定校 朽木東小学校、安曇小学校、本庄小学校、高島小学校、新旭南小学校、マキノ中学校、朽木中学校、安曇川中学校</p>	<p>災害復旧関連事業 3億7,122万円</p> <p>台風18号で甚大な被害を受けた農業施設や道路、河川などの災害復旧工事について、国や県の災害復旧事業の補助採択を受け実施します。 《農業施設災害復旧事業》 …2,448万円 《道路災害復旧事業》 …2億4,346万円 《河川災害復旧事業》 …1億329万円</p>	



高島で 暮らしそう!

若者定住促進プロジェクト

空き家所有者の皆さんへ

貸したい・売りたい 「空き家」情報を どしどしお寄せください!!

今津、新旭、安曇川で「空き家活用相談会」を開催!

市内への若者の移住を進めるため、空き家の所有者がその活用を気軽に相談できる場として、空き家活用相談会を開催します。空き家を所有している皆さん、ぜひ相談会をご利用ください。

日時 5月17日(土) 10時~12時
※予約いただいた方を優先します。

場所 今津会場 ▶ 今津東コミュニティセンター
新旭会場 ▶ 新旭公民館
安曇川会場 ▶ 藤樹の里文化芸術会館

高島市空き家活用促進協議会 事務局 (企画調整課) ☎(25) 8114

昨年度に実施した相談会で 流通した空き家の状況

この相談会により活用できる空き家の調査を行い、これまでに貸家6件、売家6件を登録しています。最近では貸家を求める移住希望者が多く、貸家6件のうち5件の紹介が進み、空き家が有効に活用されています。

住まいの希望 (年代別)

